

リストNo	03-080	施設コード	00770			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	江西会館					
所在(町名・番地)	中央区春日町41-1					
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 前嶋 卓志			
	施設	健康福祉部中央福祉事業所・社会福祉課	課長名 夏目 健一			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市福祉館条例					
設置目的	近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身に健やかな人間育成に寄与する。					
主な利用者	近隣住民・各種講座利用者					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	9:00 ～ 21:30					
建物情報	総延床面積	477.51	土地面積	743.93		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	743.93	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	-				
	建築年月日(主要建物)	1982/3/1				
	経過年数(主要建物)	42				
用途地域	第一種住居地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



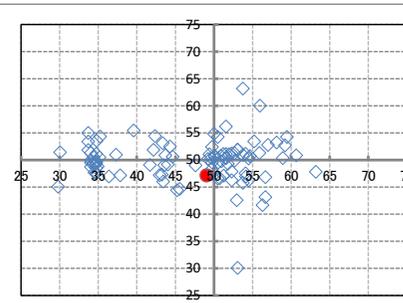
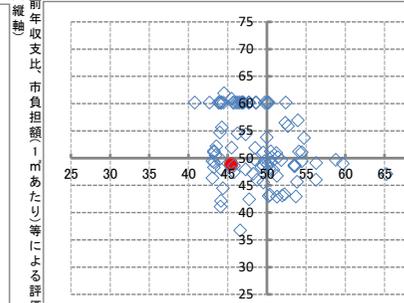
項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	203	196	169
	国県支出金	4,843	4,843	4,645
	その他収入	6	6	9
	収入計(A)	5,052	5,045	4,823
	支出(千円)	10,000	10,000	10,000
人件費	389	372	399	
維持補修費(修繕費)	707	600	759	
物件費(光熱水費)	494	602	770	
物件費(借地料)	0	0	0	
支出計(B)	11,590	11,574	11,928	
行政コスト(B-A)	6,538	6,529	7,105	
収支前年比	100.14	91.89	238.42	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	3,587	3,587	3,587	
利用状況	利用コマ数/年	1,432	1,345	1,120
	利用可能コマ数/年	19,188	19,250	15,150
	施設利用者数/年	5,603	5,455	4,254
	開館日数/年	307	308	303
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	41,282	12,393	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-029	南部協働センター	生活	1.1
03-004	福祉交流センター	市域	1.2
03-028	県居協働センター	生活	1.2
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.7
03-047	白脇協働センター	生活	1.8
03-048	新津協働センター	生活	1.9
03-001	アクティビティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コンgresセンター)	広域	2.0
07-007	江西児童館	生活	0.0
13-020	春日団地改良住宅	地域	0.2
15-098	江西中学校	生活	0.2
15-021	浅間小学校	生活	0.3
08-004	江西保育園	生活	0.3
14-038	浜松第12分団	コミュニティ	0.5
14-003	南消防署	地域	0.7
14-004	消防車両整備工場	地域	0.7



基本情報	リストNo	03-080	施設コード	00770	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
	施設名	江西会館		施設	健康福祉部中央福祉事業所・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	2
複合施設	江西児童館						
施設運営分析	関連政策名	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		近隣住民の福祉の向上、交流の拠点となるコミュニティーセンターとして、地域住民のニーズに応えるべく、各種事業の開催や地域に開かれた施設として運営し、自ら学ぶ意欲に満ちた心豊かで心身共に健やかな人間育成に寄与する。					
		主な業務内容	相談業務・貸館業務・各種講習会・啓発広報・会館まつり				
		主な利用者	近隣住民・各種講座利用者				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者がある				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化に伴い需要は減少していくと考えられる				
	特記事項		—				
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		各種事業(無料)243回・延2138人、各種事業(有料)447回・延4689人<事業②~④分含む>	2023	—	—	6,827	
			2022	—	—	5,033	
			2021	—	—	4,254	
事業②		民謡講習会、茶道講習会、アートクラフト講習会、三味線・尺八講習会、絵手紙講習会、フィットネス講習会・夏の図画工作教室・高齢者応援講座、ピンクリボン講座、世代交流イベント、成人講座、地域住民交流研修会	2023	624	—	1,599	
			2022	622	—	1,702	
			2021	601	—	1,332	
事業③		会館まつり	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	教育相談・生活相談・健康相談・育児相談・その他相談	2023	—	—	—		
		2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和38年に開館(昭和57年改築)以来50年以上が経過し、施設や設備の老朽化が目立つ。					
	対応策	施設の老朽化のため、修繕を必要とする部分が増えてきている。利用者は高齢者が多いため、利用者に配慮した改修が必要。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	13,692	13,673	14,879	1人当たりのコスト(円)	1,167	1,197	1,670
	施設利用率(%)	7.5	7.0	7.4	1開館日当たりのコスト(円)	21,296	21,198	23,449
	1日当たり利用者(人)	18	18	14	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者者の圏域毎の方向性							
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>		<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>				
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-081	施設コード	02485	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	文丘集会所			
所在(町名・番地)	中央区文丘町501-1			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 前嶋 卓志	
	施設	健康福祉部福祉総務課	課長名 前嶋 卓志	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	地域活性化のための住民活動を支援する。			
主な利用者	布橋北自治会			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	133.83	土地面積 243.70	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.21		
	耐震工数(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1982/3/25		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	23,730	—	23,730
財源	国・県	14,470	—	14,470
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	9,260	—	9,260
特記事項	—			



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)	0	0	0	
収支前年比	—	—	—	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	741	741	741	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	2,561	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-078	城北会館	コミュニティ	0.1
03-021	和地山公園集会所	生活	0.7
03-025	西部協働センター	生活	0.9
03-023	富塚協働センター	生活	1.0
03-006	勤労会館(Uホール)	地域	1.1
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.2
03-024	高台協働センター	生活	1.4
03-074	和合会館	コミュニティ	1.5
08-007	西保育園	生活	0.2
15-108	北部中学校	生活	0.4
14-031	浜松第3分団	コミュニティ	0.5
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	0.6
15-006	追分小学校	生活	0.6
13-017	和合(馬生)団地	地域	0.7
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	0.8
15-015	広沢小学校	生活	0.8



基本情報	リストNo	03-081	施設コード	02485	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
	施設名	文丘集会所			施設	健康福祉部福祉総務課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		地域活性化のための住民活動を支援する。					
		主な業務内容	地域の集会、住民交流活動				
		主な利用者	布橋北自治会				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			設置当初から大きな変化はない			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			横ばい状態で推移すると思われる			
	特記事項						
	S56年度社会教育施設整備費補助金により建設した施設。地元自治会への無償貸与						
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題 対応策 資産の見直し 民活導入	施設に関する課題等(ハード面から)					
		土地は所有者から無償で借り受けている。屋根と外壁が傷んできており、土地所有者からは修繕しないのであれば取り壊してほしいとの要望がある。					
		S57.4.1布橋北自治会長との間で締結された、管理運営委託契約第8条において維持管理および施設修理費等必要な経費は自治会負担となっており、地元自治会との協議が必要になってくる。					
		方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	○	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
		複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
		—	—				

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	管理主体変更	統廃合	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。管理主体変更や近隣集会所等との統廃合など検討する。								

リストNo	03-082	施設コード	01952
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区		
所在(町名・番地)	中央区富塚町3983-5		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	都市整備部緑政課	課長名 廣野 浩之
	施設	都市整備部緑政課	課長名 廣野 浩之
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	本施設は、富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区の自然環境保全活動の拠点施設としての活用を望む市民から寄附を受けた。寄附の趣旨に基づき自然環境保全や自然観察の活動拠点として活用する。		
主な利用者	保全活動を行うボランティア団体など		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	116.26	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1994/6/1	
経過年数(主要建物)	29	代表地目(現況地目)	0.00
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	71	72	71
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	71	72	71
行政コスト(B-A)	71	72	71	
収支前年比	98.61	101.41	95.95	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	754	754	754	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	998	1,204	1,107
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	3,976	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-074	和合会館	コミュニティ	1.1
03-073	富塚西会館	コミュニティ	1.2
03-093	西山会館	コミュニティ	1.3
03-023	富塚協働センター	生活	1.4
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.5
03-024	高台協働センター	生活	1.9
12-002	公営競技場	広域	0.6
15-026	富塚西小学校	生活	0.8
07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	0.9
13-016	和合(C1)団地	地域	1.1
13-030	西山団地	地域	1.1
08-003	権現谷保育園	生活	1.1
15-025	富塚小学校	生活	1.2
07-068	とみつか放課後児童会	生活	1.2



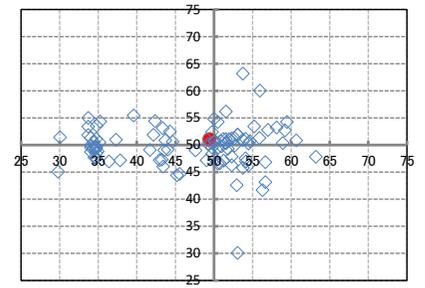
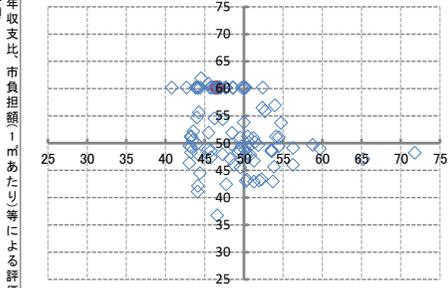
基本情報	リストNo	03-082	施設コード	01952	所管課	本庁	都市整備部緑政課
	施設名	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区				施設	都市整備部緑政課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	緑化推進・緑地保全					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		本施設は、富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区の自然環境保全活動の拠点施設としての活用を望む市民から寄附を受けた。寄附の趣旨に基づき自然環境保全や自然観察の活動拠点として活用する。					
		主な業務内容	市民協働による保全活動及び自然観察活動の拠点				
		主な利用者	保全活動を行うボランティア団体など				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		年間を通じて多くの利用者があり、利用の落ち込みはない。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		自然環境保全への関心は高まる。				
	特記事項		特になし				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域の自然を守るボランティア団体が主催する保全活動や観察会のために利用されている。	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数
			2022	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—
事業②		—	2023	—	—	—	—
			2022	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—
事業③		—	2023	—	—	—	—
			2022	—	—	—	—
事業④	—	2023	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	電気設備等、不具合が生じた際に都度、修繕を行っている。古い施設であるため、今後、建物や設備等において大規模な修繕や設備の更新が必要になる可能性がある。					
	対応策	計画的な修繕を実行していくことで建物の長寿命化を図る。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	椎ノ木谷特別緑地保全地区内の保全活動を行っている「椎ノ木谷保全の会」との市民協働による管理運営が行われている。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	611	619	611	1人当たりのコスト(円)	71	60	64	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
椎ノ木谷特別緑地保全地区の保全活動(市民団体によるボランティア)の拠点として、当面適切な維持管理に努める。更新時には、保全活動等の状況を踏まえ、特別緑地保全地区として必要な機能に限定した整備を行う。									

基本情報	リストNo	03-083	施設コード	00182	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	安新会館			施設	中央区・東行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		一定の利用者があり、需要は確保されている。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。							
主要事業	特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。							
	事業①	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
	事業②	2023	—	—	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	—	—	
	事業③	2023	—	—	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	—	—	
	事業④	2023	—	—	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	—	—	
	施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが望まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	2.2	1.5	2.1	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	3	2	2	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

基本情報	リストNo	03-084	施設コード	00768	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	恒武会館			施設	中央区・東行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
複合施設									
関連政策名									
生涯学習を享受できる機会の充実									
施設運営分析	設置目的(再掲)								
	防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。								
	主な業務内容	貸館業務							
	主な利用者	地域住民							
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。							
	特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。							
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
		事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	—
2022				—	—	—	—	—	
2021				—	—	—	—	—	
2020				—	—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄		課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが望まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-15	-15	-15	1人当たりのコスト(円)	-1	-1	-2
	施設利用率(%)	15.2	10.6	7.8	1開館日当たりのコスト(円)	-5	-5	-5
	1日当たり利用者(人)	8	5	3	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。							

リストNo	03-085	施設コード	01258	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	小池会館			
所在(町名・番地)	中央区小池町1184			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	中央区・東行政センター	課長名 富部 哲也	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00～22:00			
建物情報	総延床面積	513.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1991/3/20		
経過年数(主要建物)	33	うち所有面積 0.00		
用途地域	市街化調整区域			
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	6,239	1
	収入計(A)	1	6,239	1
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		-1	-6,239	-1
収支前年比		0.02	623900.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,533	3,533	3,533
利用状況	利用コマ数/年	441	280	305
	利用可能コマ数/年	5,490	4,695	4,695
	施設利用者数/年	10,173	9,101	10,251
	開館日数/年	366	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	44,004	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	通路上屋増築及び集会室サッシ改修工事	10,195			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-033	長上協働センター	生活	0.9
15-036	与進北小学校	生活	0.6
07-024	与進北放課後児童会	生活	0.6
13-026	鷺の宮団地	地域	1.0
08-029	有玉幼稚園	生活	1.1
14-011	東消防署有玉出張所	地域	1.2
08-030	与進幼稚園	生活	1.3
07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	1.3
07-023	よしん第3放課後児童会	生活	1.3



基本情報	リストNo	03-085	施設コード	01258	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	小池会館		施設	中央区・東行政センター				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—	
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		一定の利用者があり、需要は確保されている。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。								
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。								
主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業②	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業③	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業④	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
2021			—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から30年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが望まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-2	-12,162	-2	1人当たりのコスト(円)	0	-686	0
	施設利用率(%)	8.0	6.0	6.5	1開館日当たりのコスト(円)	-3	-17,093	-3
	1日当たり利用者(人)	28	25	28	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)		
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

基本情報	リストNo	03-086	施設コード	02630	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	北島会館		施設	中央区・東行政センター				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—	
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		一定の利用者があり、需要は確保されている。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。								
特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。								
主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	
—		2021	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが望まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	-3,300	3,239	1人当たりのコスト(円)	0	-971	728
	施設利用率(%)	5.2	3.4	4.1	1開館日当たりのコスト(円)	0	-3,255	3,195
	1日当たり利用者(人)	8	3	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)		
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-087	施設コード	00372
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	下之谷会館		
所在(町名・番地)	中央区和地町6749		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	中央区・西行政センター	課長名 渡辺 貴史
設置根拠(法)	防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため		
主な利用者	地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:00 ～ 22:00		
建物情報	総延床面積	122.52	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.94	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1981/1/1	
経過年数(主要建物)	43	うち所有面積 0.00	うち借地面積 0.00
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



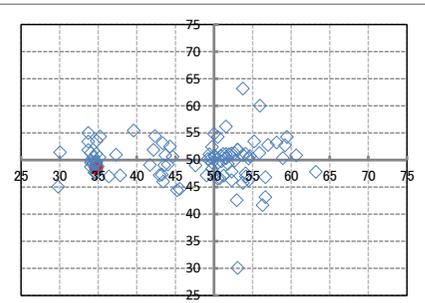
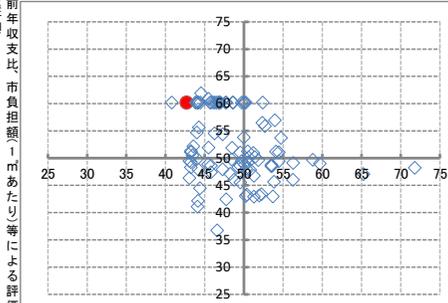
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		798	798	798
利用状況	利用コマ数/年	15	16	25
	利用可能コマ数/年	1,098	1,095	1,095
	施設利用者数/年	142	159	221
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,960	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
03-089	湖東西会館	コミュニティ	1.2	
03-040	和地協働センター	生活	1.4	
03-096	平松会館	コミュニティ	1.7	
同分類				
その他の分類	14-050	浜松第37分団	コミュニティ	0.2
	10-004	ふれあい交流センター湖東	地域	0.2
	08-040	和地幼稚園	生活	0.2
	24-020	和地排水機場	—	0.5
	15-119	湖東中学校	生活	0.8
	26-011	湖東中継ポンプ場	—	0.9
	13-039	湖東団地	地域	1.0
	20-006	平和最終処分場	地域	1.2



基本情報	リストNo	03-087	施設コード	00372	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	下之谷会館			施設	中央区・西行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により、学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	1.4	1.5	2.3	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	0	0	1	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者等の圏域毎の方向性							
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>他類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
		<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
個別方針		当面適切な維持管理に努める。						

リストNo	03-088	施設コード	00690
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	湖東会館		
所在(町名・番地)	中央区湖東町2964-1		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	中央区・西行政センター	課長名 渡辺 貴史
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。		
主な利用者	地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 21:00		
建物情報	総延床面積	360.06	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.82	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1980/1/1	
	経過年数(主要建物)	44	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)	0	0	0	
収支前年比	—	—	—	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	2,195	2,195	2,195	
利用状況	利用コマ数/年	458	280	254
	利用可能コマ数/年	4,392	4,380	4,380
	施設利用者数/年	5,579	3,400	2,522
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	26,968	3,193	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2013	屋根改修工事	2,713			
2007	復温除工事及び改修工事(機械設備工事)	13,440			
2007	復温除工事及び改修工事(建築工事)	12,380			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
03-097	北原会館	コミュニティ	0.8	
03-089	湖東西会館	コミュニティ	1.1	
03-040	和地協働センター	生活	1.3	
03-043	農村環境改善センター	生活	1.4	
03-079	北星会館	コミュニティ	1.7	
20-004	西部衛生工場	地域	1.0	
14-013	西消防署湖東出張所	地域	1.1	
15-048	和地小学校	生活	1.2	
26-035	和地中継ポンプ場	—	1.2	
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	1.2	
13-039	湖東団地	地域	1.3	
05-008	北部水泳場	地域	1.4	
26-011	湖東中継ポンプ場	—	1.5	



基本情報	リストNo	03-088	施設コード	00690	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	湖東会館		施設	中央区・西行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者がおり需要は確保している。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
	—	2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	10.4	6.4	5.8	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	15	9	7	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-089	施設コード	00692
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	湖東西会館		
所在(町名・番地)	中央区湖東町1484-225		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	中央区・西行政センター	課長名 渡辺 貴史
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。		
主な利用者	地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:30 ～ 21:00		
建物情報	総延床面積	321.88	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.81	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1981/1/1	
	経過年数(主要建物)	43	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)	0	0	0	
収支前年比	—	—	—	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	2,023	2,023	2,023	
利用状況	利用コマ数/年	163	192	146
	利用可能コマ数/年	3,294	3,285	4,380
	施設利用者数/年	2,166	2,478	1,799
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	8,351	4,967	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2016	外壁及び屋上防水改修工事	7,270			
2011	空調機改修工事	5,775			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-040	和地協働センター	生活	0.7
03-097	北原会館	コミュニティ	1.0
03-088	湖東会館	コミュニティ	1.1
03-087	下之谷会館	コミュニティ	1.2
03-043	農村環境改善センター	生活	1.6
13-039	湖東団地	地域	0.3
26-011	湖東中継ポンプ場	—	0.4
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	0.6
15-048	和地小学校	生活	0.6
26-035	和地中継ポンプ場	—	0.8
15-119	湖東中学校	生活	0.9
14-050	浜松第37分団	コミュニティ	1.0
24-020	和地排水機場	—	1.1



基本情報	リストNo	03-089	施設コード	00692	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	湖東西会館			施設	中央区・西行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		一定の利用者があり、需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
	—	2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	4.9	5.8	3.3	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	6	7	5	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)			供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
個別方針	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-090	施設コード	00898
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	佐浜会館		
所在(町名・番地)	中央区佐浜町1933-1		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	中央区・西行政センター	課長名 渡辺 貴史
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。		
主な利用者	地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	7:00 ～ 22:00		
建物情報	総延床面積	206.05	土地面積 919.70
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.31	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1981/1/1	
土地情報	うち所有面積	919.70	
	うち借地面積	0.00	
代表地目(現況地目)	官公庁用地		
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	179	135	147
	利用可能コマ数/年	2,196	2,190	2,190
	施設利用者数/年	2,042	1,539	1,880
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	18,394	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-039	伊佐見協働センター	生活	1.0
03-096	平松会館	コミュニティ	1.6
24-010	佐浜第1排水機場	—	0.2
24-011	佐浜第2排水機場	—	0.3
14-049	浜松第36分団	コミュニティ	1.0
07-036	伊佐見放課後児童会	生活	1.0
15-041	伊佐見小学校	生活	1.0
08-033	伊佐見幼稚園	生活	1.0
26-013	腫ヶ丘中継ポンプ場	—	1.2
06-010	はまゆう図書館	地域	1.3



基本情報	リストNo	03-090	施設コード	00898	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	佐浜会館			施設	中央区・西行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		一定の利用者があり、需要は確保されている。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。							
主要事業	特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。							
	事業①	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
			2023	—	のべ募集人員	参加者数			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
	事業②		2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
	事業③		2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
事業④		2021	—	—	—				
		2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
	2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	8.2	6.2	6.7	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	6	4	5	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

基本情報	リストNo	03-091	施設コード	01456	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	神ヶ谷会館			施設	中央区・西行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		一定の利用者があり、需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。							
	特記事項							
航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する施設である。								
主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	—	
2022			—	—	—	—		
2021			—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	12.9	11.5	7.8	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	26	24	13	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
	利用者の圏域毎の方向性 他類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
個別方針	利用用途別分類の方向性 今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-092	施設コード	01469
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	神原会館		
所在(町名・番地)	中央区神原町772-6		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	中央区・西行政センター	課長名 渡辺 貴史
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。		
主な利用者	地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:00～22:00		
建物情報	総延床面積	314.30	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1995/3/1	
経過年数(主要建物)	29	うち所有面積 0.00	うち借地面積 0.00
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)	0	0	0	
収支前年比	—	—	—	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	2,418	2,418	2,418	
利用状況	利用コマ数/年	544	430	344
	利用可能コマ数/年	4,392	4,380	4,380
	施設利用者数/年	5,866	7,708	5,039
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	39,785	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-037	神久呂協働センター	生活	0.5
03-093	西山会館	コミュニティ	1.0
03-043	農村環境改善センター	生活	1.3
03-091	神ヶ谷会館	コミュニティ	1.8
03-039	伊佐見協働センター	生活	1.9
03-097	北原会館	コミュニティ	2.0
20-005	西部衛生工場神原ポンプ場	地域	0.9
08-014	神田原保育園	生活	0.9
07-030	松かげ第2放課後児童会	生活	1.0
15-043	神久呂小学校	生活	1.0
08-034	神久呂幼稚園	生活	1.1
15-117	神久呂中学校	生活	1.4
13-030	西山団地	地域	1.5
06-010	はまゆう図書館	地域	1.5



基本情報	リストNo	03-092	施設コード	01469	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	神原会館				施設	中央区・西行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		一定の利用者があり、需要は確保されている。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。								
	特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。							
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	
—		2021	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から25年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0	
	施設利用率(%)	12.4	9.8	7.9	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0	
	1日当たり利用者(人)	16	21	14	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
個別方針									
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。									

リストNo	03-093	施設コード	01574	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	西山会館			
所在(町名・番地)	中央区西山町2050-2			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	中央区・西行政センター	課長名 渡辺 貴史	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:00 ～ 22:00			
建物情報	総延床面積	615.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		土地面積 うち所有面積 0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.48		
	耐震工事(主要建物)	-		土地面積 うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1978/1/1		
経過年数(主要建物)	46	代表地目(現況地目)		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)	0	0	0	
収支前年比	—	—	—	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,571	3,455	3,455	
利用状況	利用コマ数/年	1,055	978	809
	利用可能コマ数/年	4,392	3,984	4,380
	施設利用者数/年	14,440	13,205	11,050
	開館日数/年	365	332	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外壁等改修工事	10,232			
2016	西山会館改修工事	8,905			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-092	神原会館	コミュニティ	1.0
03-082	富塚稚ノ木谷特別緑地保全地区	コミュニティ	1.3
03-043	農村環境改善センター	生活	1.4
03-037	神久呂協働センター	生活	1.6
03-073	富塚西会館	コミュニティ	1.8
08-014	神田原保育園	生活	0.2
13-030	西山団地	地域	0.4
20-004	西部衛生工場	地域	1.5
12-002	公営競技場	広域	1.8
07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	1.8
14-013	西消防署湖東出張所	地域	1.8
15-026	富塚西小学校	生活	1.8
08-034	神久呂幼稚園	生活	1.9



基本情報	リストNo	03-093	施設コード	01574	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当			
	施設名	西山会館				施設	中央区・西行政センター				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—				
施設運営分析	複合施設	—									
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実									
	設置の妥当性	設置目的(再掲)									
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。									
		主な業務内容	貸館業務								
		主な利用者	地域住民								
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか									
		一定の利用者があり、需要は確保されている。									
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測									
		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。									
主要事業	特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。									
	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況						
	事業①			2023	—	のべ募集人員	参加者数				
				2022	—						
				2021	—						
	事業②			2023	—						
				2022	—						
				2021	—						
	事業③			2023	—						
				2022	—						
		2021	—								
事業④			2023	—							
			2022	—							
			2021	—							
施設に関する課題等(ハード面から)											
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から45年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。									
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。									
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄					
		廃止	—	—	—	—					
		民間移管	—	—	—	—					
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。					
		代替サービス	—	—	—	—					
統廃合		—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—							
広域化	—	—	—	—							
民活導入	—										

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0	
	施設利用率(%)	24.0	24.5	18.5	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0	
	1日当たり利用者(人)	40	40	30	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>				
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。									

基本情報	リストNo	03-094	施設コード	01732	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	村柳会館			施設	中央区・西行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。						
		特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。						
主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業②	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業③	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業④	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
2021			—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から30年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	20.1	20.3	19.6	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	35	29	28	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

基本情報	リストNo	03-095	施設コード	01745	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	大久保会館				施設	中央区・西行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		一定の利用者があり、需要は確保されている。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。							
	特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。							
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業②	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業③	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業④	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
2021			—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から35年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民生活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-2,068	0	0	1人当たりのコスト(円)	-212	0	0	
	施設利用率(%)	6.3	5.8	5.6	1開館日当たりのコスト(円)	-2,666	0	0	
	1日当たり利用者(人)	13	12	12	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>				
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。									

基本情報	リストNo	03-096	施設コード	02494	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	平松会館			施設	中央区・西行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。						
		特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。						
主要事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		2023	—	—	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	—	—	
	事業②			2023	—	—	—	—	
				2022	—	—	—	—	
	事業③			2023	—	—	—	—	
				2022	—	—	—	—	
	事業④			2023	—	—	—	—	
				2022	—	—	—	—	
				2021	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から40年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	5.1	4.0	2.8	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	5	5	3	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-097	施設コード	02618
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	北原会館		
所在(町名・番地)	中央区伊左地町166		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	中央区・西行政センター	課長名 渡辺 貴史
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。		
主な利用者	地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:00 ～ 22:00		
建物情報	総延床面積	144.60	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	2.08	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1979/1/1	
経過年数(主要建物)	45	代表地目(現況地目)	0.00
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)	0	0	0	
収支前年比	—	—	—	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	849	849	849	
利用状況	利用コマ数/年	113	112	100
	利用可能コマ数/年	2,196	2,190	2,190
	施設利用者数/年	1,292	1,405	1,354
	開館日数/年	365	365	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	387	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2009	空調設備等改修工事	2,663			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-043	農村環境改善センター	生活	0.7
03-088	湖東会館	コミュニティ	0.8
03-089	湖東西会館	コミュニティ	1.0
03-040	和地協働センター	生活	1.5
03-039	伊佐見協働センター	生活	1.9
03-092	神原会館	コミュニティ	2.0
14-013	西消防署湖東出張所	地域	0.3
20-004	西部衛生工場	地域	0.6
13-039	湖東団地	地域	1.3
15-119	湖東中学校	生活	1.3
26-011	湖東中継ポンプ場	—	1.3
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	1.5
15-048	和地小学校	生活	1.5
26-035	和地中継ポンプ場	—	1.6



基本情報	リストNo	03-097	施設コード	02618	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	北原会館			施設	中央区・西行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。							
		主な業務内容	貸館業務						
		主な利用者	地域住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。						
		特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。						
主要事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		2023	—	—	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	—	—	
	事業②	2023	—	—	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	—	—	
	事業③	2023	—	—	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	—	—	
	事業④	2023	—	—	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	—	—	
2021		—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から45年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。							
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	施設の管理運営の主体は、既に地元自治会が担っている。			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	5.1	5.1	4.6	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	4	4	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。							

基本情報	リストNo	03-098	施設コード	05826	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	三方原会館			施設	中央区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		一定の利用者があり、需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
	少子高齢化の進行により、ニーズは減少傾向にある。							
	特記事項	航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。						
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
—		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建設から45年以上が経過し、建物の経年劣化による不具合も多く発生していることから、施設改修を計画的に実施していく必要がある。また、管理運営を委託している18の地域自治会にとって施設自体の必要性に対する考え方に温度差があり、利用者の確保にも苦勞していることから、今後の施設の管理運営方法に課題が残る。						
	対応策	老朽化した箇所を計画的に修繕していきながら施設を存続していく。一方、18の自治会が施設の存続等について協議を行っていただくと共に、施設の地域における役割などを検証していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-5	0	1,957	1人当たりのコスト(円)	0	0	95	
	施設利用率(%)	21.6	21.4	16.4	1開館日当たりのコスト(円)	-8	0	2,970	
	1日当たり利用者(人)	52	46	31	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価									
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>				
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。									

リストNo	03-103	施設コード	04484	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	佐久間歴史と民話の郷会館・旧佐久間協働センター			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町佐久間429-1			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 佐々木 豊	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市佐久間歴史と民話の郷会館条例			
設置目的	市民の芸術及び文化の振興並びに福祉の増進を図るため。			
主な利用者	市民(佐久間地区)			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	8,798.09	土地面積 14,477.21	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1996/5/20		
土地情報	うち所有面積	14,477.21		
	うち借地面積	0.00		
代表地目(現況地目)	宅地			
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	2,932,721	—	2,932,721	
財源	国・県	32,234	—	32,234
	寄付金	—	—	—
	その他	1,362,865	—	1,362,865
	市債	1,483,300	—	1,483,300
	一般財源	54,322	—	54,322
特記事項	佐久間歴史と民話の郷会館と旧佐久間協働センターを合算してあります。			



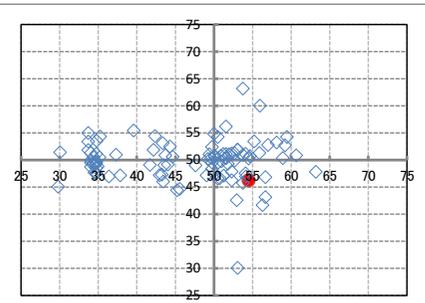
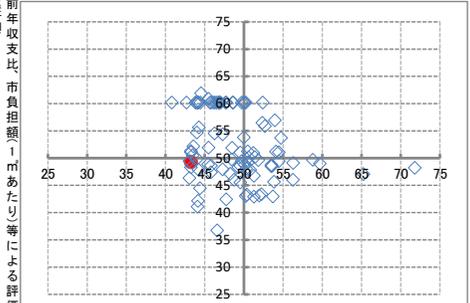
項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	836	1,053	619
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	170	9,004	8,523
	収入計(A)	1,006	10,057	9,142
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	16,560	16,338	16,401
	維持補修費(修繕費)	1,557	4,149	3,877
	物件費(光熱水費)	10,052	11,807	10,459
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	28,169	32,294	30,737	
行政コスト(B-A)	27,163	22,237	21,595	
収支前年比	122.15	102.97	109.03	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	59,241	59,241	59,241	
利用状況	利用コマ数/年	1,813	2,008	2,746
	利用可能コマ数/年	26,720	26,902	25,661
	施設利用者数/年	8,893	10,001	12,561
	開館日数/年	309	313	308
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	96,026	1,362,543	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	吊り天井落下防止対策工事	39,069	2013	計測震度計更新工事	6,405
2018	設備改修工事	61,937	2013	BEMS導入工事	6,048
2017	屋根防水工事	19,165			
2014	自動火災報知設備更新工事	4,044			
2014	舞台吊物ワイヤーロープ交換工事	3,348			
2014	自動火災報知設備感知器取替工事	3,197			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-105	佐久間支所体育館	地域	0.3
06-016	佐久間図書館	地域	0.3
26-024	佐久間浄化センター	—	0.8
13-086	半場団地	地域	1.0
15-092	佐久間小学校	生活	1.0
08-080	佐久間幼稚園	生活	1.1
02-007	半場教職員住宅	地域	1.1
14-028	天竜消防署佐久間出張所	地域	1.5
01-027	佐久間支所	地域	1.6

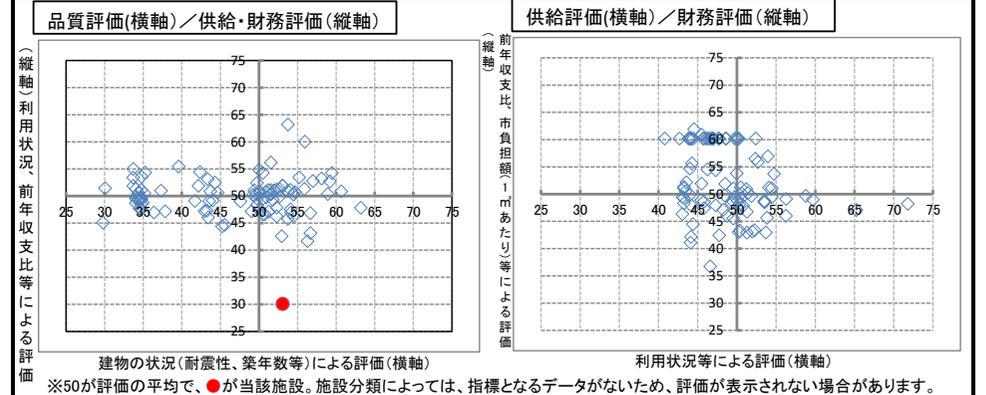


基本情報	リストNo	03-103	施設コード	04484	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当
	施設名	佐久間歴史と民話の郷会館・旧佐久間協働センター				施設	天竜区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	—					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の芸術及び文化の振興並びに福祉の増進を図るため。					
		主な業務内容	佐久間歴史と民話の郷会館の管理。				
		主な利用者	市民(佐久間地区)				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		減少していない					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測					
		変化しない					
主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
	和太鼓教室・65回	2023	500	—	402		
		2022	500	—	686		
		2021	500	—	499		
	事業②	ジュニア吹奏楽講座・14回		2023	190	3	34
		2022	161	2	21		
		2021	185	7	34		
	事業③	あつまれ! わくわくきっず・1回		2023	—	2	1
		2022	—	3	3		
2021		9	3	3			
事業④	地域文化セミナー・9回		2023	65	47	93	
	2022	66	27	75			
	2021	73	18	75			
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から25年以上が経過し、施設や設備に経年劣化や破損が目立ってきている。また、部品の製造中止・廃番によって修繕できない機器が増えており、更新するしかない状況が増えてきている。					
	対応策	計画的に、各設備の修繕又は更新を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	○	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	○	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	NPO法人ががんばらまいか佐久間へ一部管理を委託している。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	3,087	2,527	2,455	1人当たりのコスト(円)	3,054	2,223	1,719
	施設利用率(%)	6.8	7.5	10.7	1開館日当たりのコスト(円)	87,906	71,045	70,114
	1日当たり利用者(人)	29	32	41	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
個別方針	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
	利用者の圏域毎の方向性		<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>					
利用用途別分類毎の方向性		<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
1資産の見直し		複合化	管理主体変更	—	—	—	—	
2民活導入		(1)維持管理	要検討	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努め、更新時には利用状況を踏まえ、他施設との複合化や規模適正化など検討する。</p>								

基本情報	リストNo	03-105	施設コード	05067	所管課	本庁	—
	施設名	佐久間支所体育館				施設	天竜区・佐久間支所
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	生涯スポーツを楽しむ機会の拡大					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るとともに地域住民のスポーツを通じた健康づくり、体力づくりの場として提供していく。					
		主な業務内容	貸し施設				
		主な利用者	一般市民、スポーツ団体等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は継続している。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		地域人口の減少及び高齢化により、利用者の減少が予想される。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建設から30年以上が経過しており、修繕を要する箇所が発生してきている。早期対応で修繕箇所の拡大を防ぐ必要がある。					
	対応策	施設定期点検における指摘箇所の早期対応。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	支所の付帯施設である。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	3,649	1,238	983	1人当たりのコスト(円)	2,550	885	848
	施設利用率(%)	1.9	1.0	1.9	1開館日当たりのコスト(円)	9,674	3,281	2,607
	1日当たり利用者(人)	4	4	3	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



利用者の圏域毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他

当面適切な維持管理に努め、更新時には利用状況を踏まえ、他施設との統廃合や複合化を検討する。

リストNo	03-106	施設コード	05258	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	市民音楽ホール			
所在(町名・番地)	浜市区新都田三丁目2-1			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男	
	施設	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市市民音楽ホール条例			
設置目的	市民の音楽文化活動や学習成果等の発表の場を創出することにより、市民の文化の振興を図るため(浜松市市民音楽ホール条例第1条)			
主な利用者	市民(個人/文化団体)、学校団体他			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~			
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団			
開館時間	9:00 ~ 21:30			
建物情報	総延床面積	5,981.26	土地面積	29,967.62
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	5	うち所有面積	29,967.62
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-	うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2021/3/22		
	経過年数(主要建物)	3	代表地目(現況地目)	宅地
用途地域	近隣商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	4,500,000	2,138,277	6,638,277
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	2,182,227	—	2,182,227
	市債	1,870,000	—	1,870,000
一般財源	447,773	2,138,277	2,586,050	
特記事項	・令和3年6月1日開設 ・令和3年7月1日一般供用開始			



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	31,633	35,577	18,866
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	5,679	4,261	3,864
	収入計(A)	37,312	39,838	22,730
支出(千円)	人件費	33,797	34,024	27,520
	物件費(委託料)	49,800	48,298	42,912
	維持補修費(修繕費)	1,960	450	301
	物件費(光熱水費)	15,409	19,010	13,231
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	100,966	101,782	83,964	
行政コスト(B-A)	63,654	61,944	61,234	
収支前年比	102.76	101.16	—	
(参考)指定管理料	95,100	95,100	82,500	
(参考)減価償却費	75,428	75,428	75,428	
利用状況	利用コマ数/年	5,945	5,932	3,163
	利用可能コマ数/年	13,834	13,339	9,397
	施設利用者数/年	107,951	119,412	45,390
	開館日数/年	346	345	289
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,731,101	2,287,984	—	

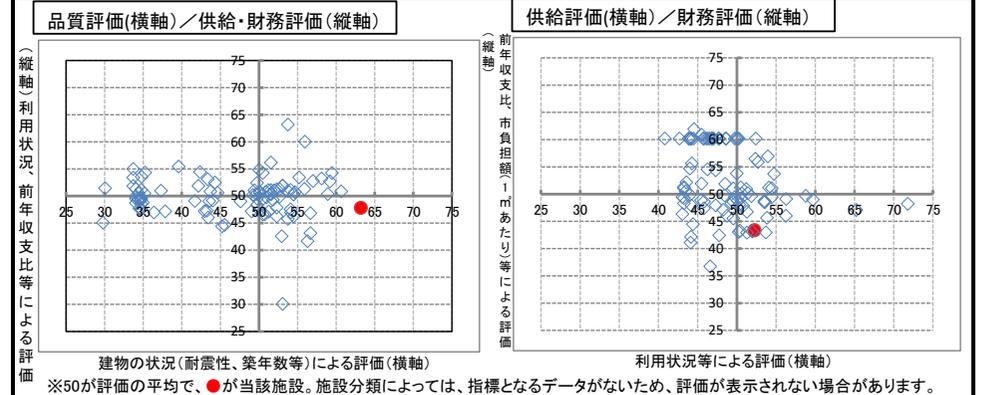
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
01-031	新都田市民サービスセンター	生活	0.2
06-018	都田図書館	地域	0.5
15-072	都田南小学校	生活	0.6
07-051	ひばり放課後児童会	生活	0.7
26-034	都田中継ポンプ場	—	0.7
17-007	都田総合公園	地域	0.7
14-066	浜松第31分団	コミュニティ	2.0



基本情報	リストNo	03-106	施設コード	05258	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課
	施設名	市民音楽ホール		施設	市民部創造都市・文化振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	金計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の音楽文化活動や学習成果等の発表の場を創出することにより、市民の文化の振興を図るため(浜松市市民音楽ホール条例第1条)					
		主な業務内容	貸館業務、施設を活用した事業の実施				
		主な利用者	市民(個人/文化団体)、学校団体他				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
	文化事業の拠点施設として、今後もニーズはある。						
特記事項							
—							
主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	浜松ジュニアプラス育成事業「定期演奏会」	2023	—	—	802	
			2022	—	—	458	
			2021	—	—	126	
			2023	—	—	347	
	事業②	マジックハートコンサート(隔月)	2022	—	—	310	
			2021	—	—	195	
			2023	—	—	155	
	事業③	常葉大学連携事業(ワークショップ、市民講座等)(月1回程度)	2022	—	—	160	
			2021	—	—	170	
2023			—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2023	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	令和3年6月に開館したが、入館者に安全・快適に利用してもらえるよう今後も施設を適切に維持管理していく。					
	対応策	計画的に修繕等を行うとともに緊急修繕にも対応していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	令和3年6月より指定管理者制度による管理を実施。今後も事業の企画・運営などにおいて、一層の民間活力の活用を図る。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	10,642	10,356	10,238	1人当たりのコスト(円)	590	519	1,349
	施設利用率(%)	43.0	44.5	33.7	1開館日当たりのコスト(円)	183,971	179,548	211,882
	1日当たり利用者(人)	312	346	157	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



利用者の圏域毎の方向性
各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。

利用用途別分類毎の方向性
今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他

当面適切な維持管理に努める。